

抜歯即時埋入のトラブルとそのリカバリー

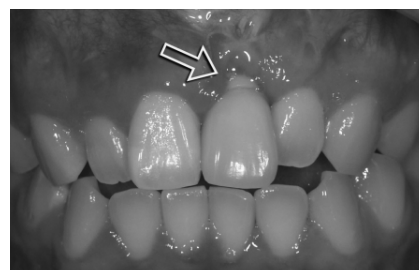
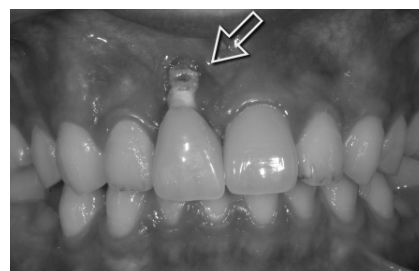
寺本 昌司

寺本デンタルクリニック



審美領域のインプラント治療では、治療のゴールは機能回復だけでなく、天然歯により近い審美的回復とその永続性が求められるようになった。さらに、多くの患者がQOLの維持や隣在歯の保護を求め、手術回数の減少や治療期間の短縮を希望するようになってきた。このような背景の中で、抜歯即時埋入が有効なオプションであることは疑う余地がない。しかしながら、抜歯即時埋入の予知性は歯周組織の残存状態に依存し、予知性を高めるために保存可能な歯を抜歯するという歯科医師の王道から外れた医療に陥る危険性がある。その反面、歯を残そうとすればするほど抜歯に至った時点での歯周組織の喪失は著しく、骨造成による再建は難易度を増し、軟組織の修復手技にも工夫が必要になる。

このジレンマのなかで演者自身も抜歯即時埋入のトラブルを経験し、様々なリカバリーを試みてきた。本講演では、審美領域のインプラント治療における抜歯即時埋入の落とし穴を演者自身のトラブル症例を交えて検証するとともに、外科的あるいは補綴的リカバリーの可能性を考察してみたい。



略 歴

1987年 大阪歯科大学 卒業
 1994年 大阪歯科大学大学院(口腔外科学専攻)終了
 大阪歯科大学口腔外科学第1講座・非常勤講師
 1996年 京都市寺本歯科医院 勤務
 2005年 寺本デンタルクリニック 開設

現在の役職及び所属学会 等

- ・K.I.S.S. (Kansai Implant Study Society) ファウンダー
- ・OJ 常任理事
- ・AII 理事
- ・AO 会員
- ・AAP 会員
- ・日本口腔外科学会
- ・日本口腔インプラント学会
- ・日本歯科麻酔学会
- ・日本歯周病学会
- ・日本臨床歯周病学会

memo